

中国人向けEAPサービスのご案内

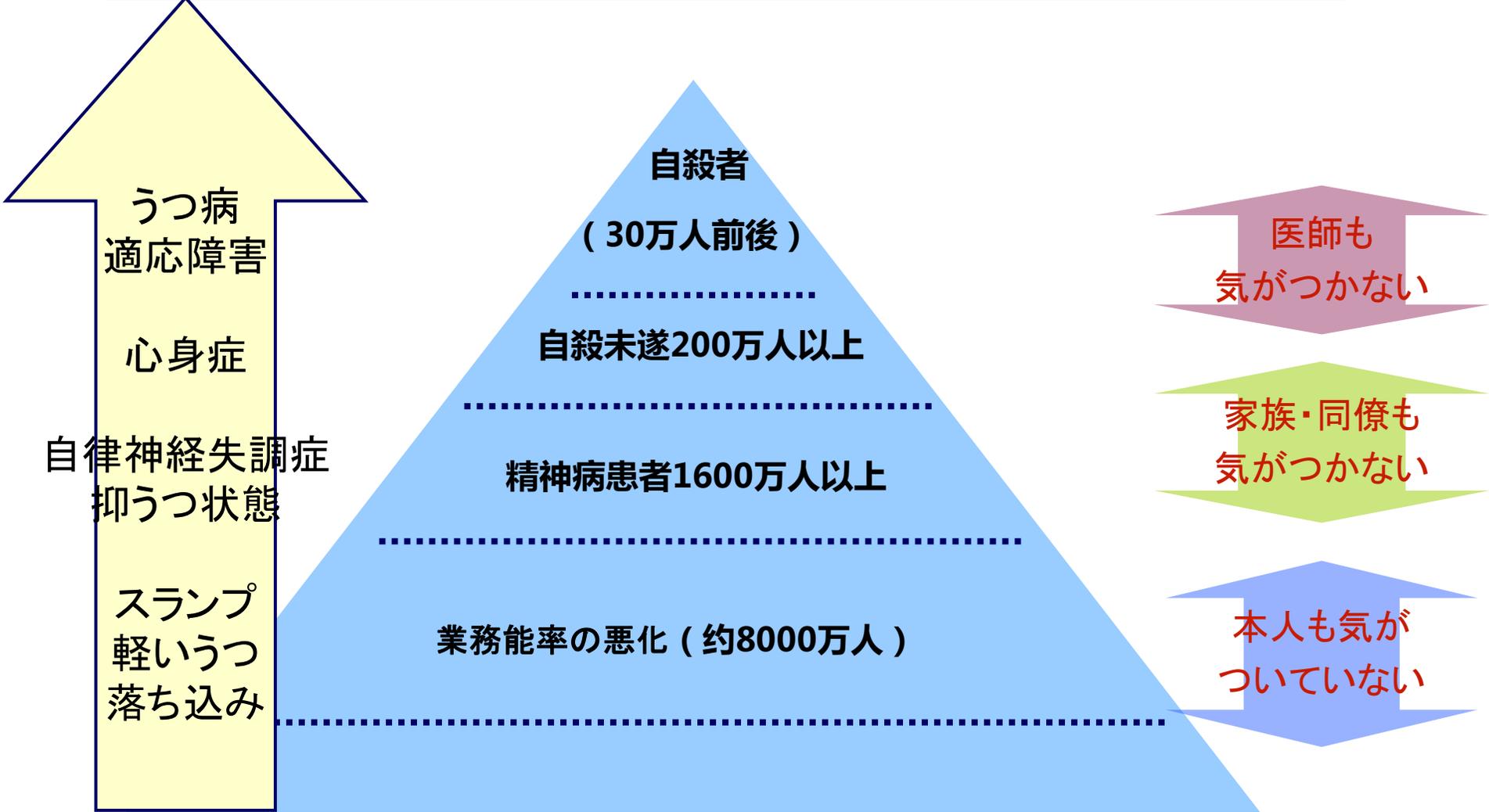
台湾系企業富士康(Foxconn)の若手女性社員の連続飛び降り自殺に例を見るように、市場経済発展のあおりを受け、中国でも近年ではメンタルヘルスが社会問題化されるようになりました。

従業員が心身ともに健康的に働くことは、本人の人生をより豊かにするためには必然のことですが、一方企業にとっても労務マネジメント上、年々重要な課題となってきました。

従業員がワークライフバランスをたもち、ひとりひとりが健康的に働き、その価値を十分に発揮するためには、従業員のメンタルヘルスの問題を企業も真剣にケアする必要性があるでしょう。

このたびサイコム・ブレインズ上海では中国人向けのEAP (Employee Assistance Program) サービスを始めました。ぜひお気軽にお問合せくださいませ。

中国メンタル不調者約2億人



メンタルヘルス問題の要因

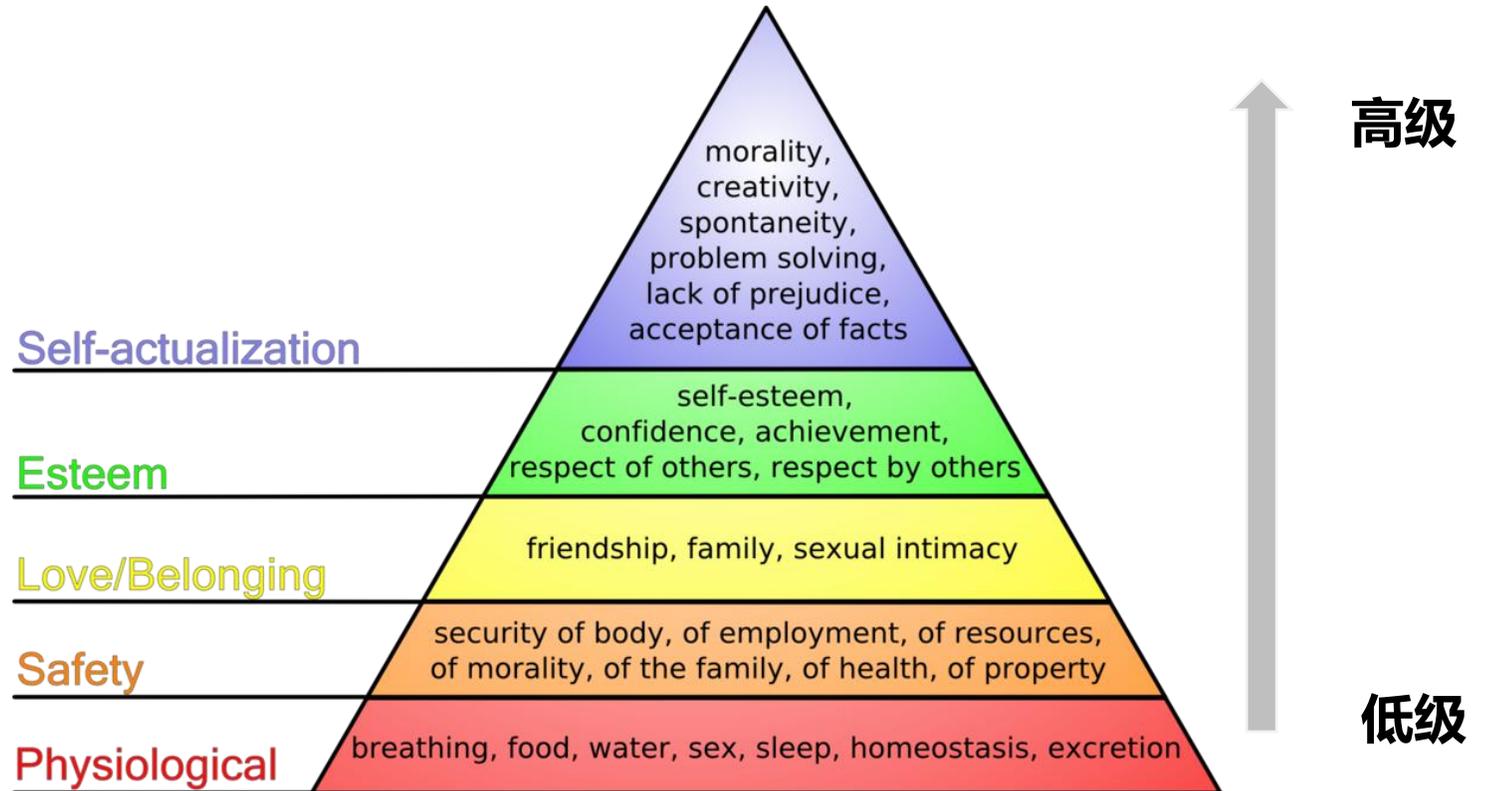
- **社会環境変化**：経済高速発展、生活負担が重く、競争が激しい、IT化
- **企業経営環境変化**：グローバル競争、企業合併、破産、組織変革、労使関係悪化など
- **人のニーズ変化**：

新たな心理欲求

自主性： 有意義な目標、自主的に行動を選択

関連性： 関心をもたれる、感情的価値観

競争力： 勉強の意欲、競争の意欲



マズローが提唱した人間の基本的欲求を低次から並べる

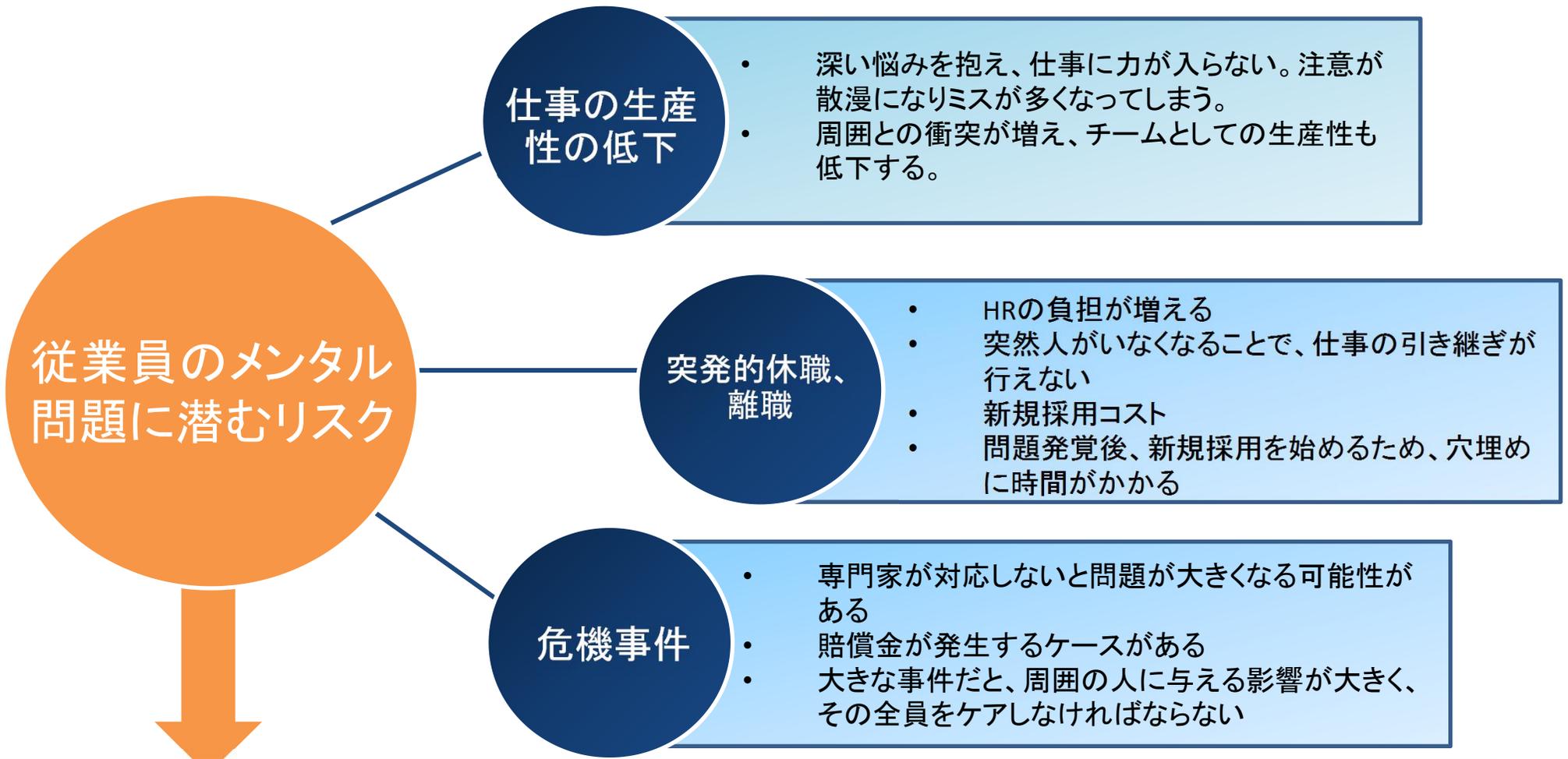
企業様の人事担当者の抱える課題～



- ・ メンタルヘルス対策を発生者対応から**未然予防にシフト**していきたい。
- ・ 対応型EAPではなく「**ストレスに強い人材作り(自己管理の強化)**」という切り口でアプローチしたい
- ・ メンタルヘルスを全面に出さず、「**組織活性化**」という切り口でアプローチしたい
- ・ 社員のストレス耐性を強化し、**生産性の向上**につなげたい。
- ・ 若手のメンタルヘルス不調者が増加している。
- ・ 管理職の業務量増加により、部下のマネジメントに割ける時間が減っている。

**ストレスやプレッシャーに強い、
元気な個人・組織の実現が求められています。**

従業員のメンタル問題に潜むリスク



つまり、

(1) **メンタル問題発生が予防でき、**

(2) **問題発生時に対応してくれる専門スタッフがいる体制が重要となる**

EAP: 従業員支援プログラム

EAPとは、“Employee Assistance Program”の略称で、職場のパフォーマンスを向上させるために、心理学や行動科学の観点から個人と企業に解決策を提供するプログラムです。

従業員一人ひとりが十分に能力を発揮し、組織全体が健康に機能できるように、EAPは従業員と組織の双方にコンサルテーションやサポートを行います。職場のストレス、上司や部下との人間関係、キャリア、セクハラ、プライベートな悩み(夫婦関係、育児、介護等)など、仕事の生産性に影響を与えている課題の原因と客観的に向き合い、解決の糸口を探し、健康な状態で安定して働く力をサポートします。



サービス内容

- 組織診断・ストレスチェック
- イーラーニング
- 微信(ウイチャット)
- カウンセリング、危機介入
- 研修トレーニング など

事例